

ペルム紀(二畳紀): 299-251Ma (Ma: 百万年前)

- 超大陸パンゲア: ゴンドワナ大陸(南アメリカ-アフリカ-インド-南極-オーストラリア)とローラシア大陸(ユーラシア-北アメリカ)が結合して誕生.
- テチス海: パンゲアに食い込む海
- パンタラッサ海: それらを取り囲む巨大海洋
- 後半には大規模氷床の発達
 - 海水準の低下
 - ◇ 顕生累代で最低-現在よりも更に低い.
 - ◇ 内陸の砂漠化
 - ◇ 大陸棚面積の縮小-浅海域の縮小の二つの意義
 - ✓ 浅海生物の生息域縮小
 - ✓ 地層として残るチャンスが減少
- シダ植物の森林は減り, 乾燥した環境にも適応できる裸子植物(種子で繁殖)の繁殖: 代表グロッソプテリス, ソテツ, イチョウ
- 陸上動物では哺乳類の祖先となった単弓類が繁殖
 - 大型化-酸素濃度に関連か?
- 爬虫類も多様化が進行

ペルム紀末の生物の大絶滅: 地球史最大の絶滅

- ◆ 約 75-96%の種が絶滅したと考えられている.
 - ◆ 中国の研究が急速に進む-世界の基準に! 当時赤道直下.
 - ◆ 今なお, ベールに包まれているその理由は, 「地層に残りにくいこと」
 - ◆ これも 2 段階絶滅?
 - 赤道付近に巨大大陸=>寒冷化を誘導, 氷床形成.
 - 海洋の循環が停滞し, 海底が深海まで無酸素になった.
 - 地球内部活動: スーパープルームが原因か? 内部にたまっていた熱いものがまとめて地表に到達=>パンゲアを分割, 太陽光をさえぎるエアロゾルの放出
 - そのほかに, 諸説あり. まだまだ研究の余地あり!
-